

市区町村名	岡山県瀬戸内市	担当部署	総合政策部企画振興課
		電話番号	0869-22-1113
		所属メール	kikaku@city.setouchi.lg.jp

1 取組事例名

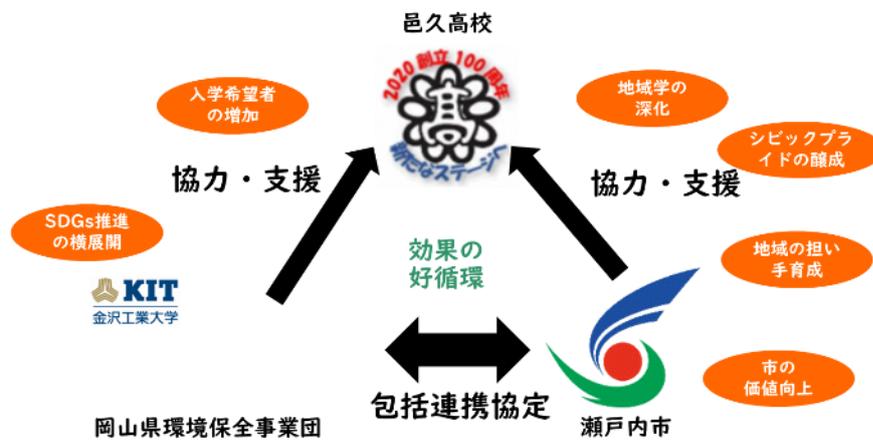
子どもたちと一緒にまちづくりを考える「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」

2 取組期間

令和3年度～（継続中）

3 取組概要

瀬戸内市では、市内唯一の高校である岡山県立邑久高等学校（以下「邑久高校」という。）及び公益財団法人岡山県環境保全事業団（SDGs連携協定を締結）と連携して、高校生が中心となり、金沢工業大学が作成している「THE SDGs アクションカードゲーム X クロス」をベースとして市の総合計画に紐づいた「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」（以下「カードゲーム」という。）を作成し、その運用を通じて、子どもたちが地域の課題解決を発想することで地域参画を促すとともに、地域ステークホルダーの関係性づくりを進めている。

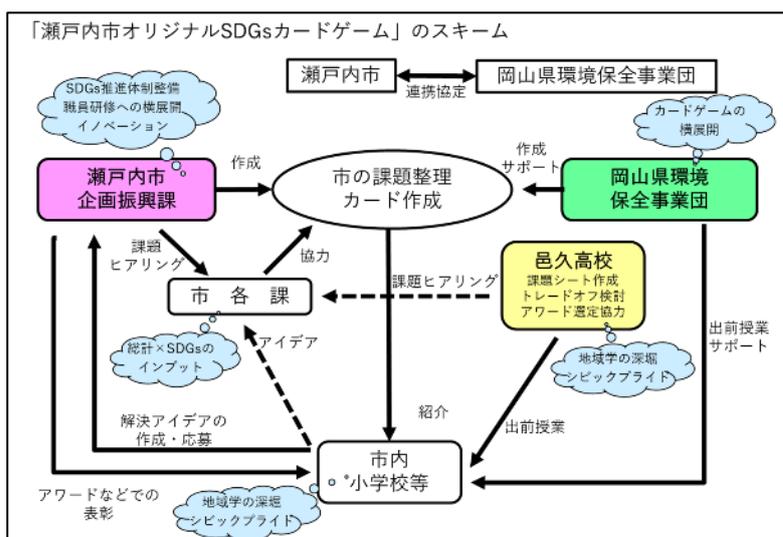


4 背景・目的

本市では、これまでの地方創生の取組により、人口推計の上振れや人口の社会増が続くなど、人口減少対策や地方創生に一定の効果はあったが、これまで以上に地方創生やSDGsを推進するためには、今までのPDCAサイクルに登場してこなかった地域の小・中学生、高校生が関わる仕組みが必要だと考えるに至った。また、令和3年度に企画振興課内に設置したSDGs推進室を中心としたSDGsの推進や、令和3年度からスタートした「第3次瀬戸内市総合計画」の実行性を高めたいと考え、高校と連携したカードゲーム事業に着手した。

5 取組の具体的内容

本市は、市内唯一の県立高校である邑久高校及び岡山県環境保全事業団と連携し、金沢工業大学の「THE SDGs アクションカードゲーム X クロス」をベースに、高校生が総合計画に沿って市の課題や取組を聞き書きし、子ども達にも分かりやすい内容にアレンジした瀬戸内市オリジナルのカードゲームを作成している。本市のSDGsの達成に向けたアクションアイデアを創出する内容となっており、本市の課題をもっと身近に感じ、カードの組み合わせと発想力で地域課題の解決方法を考えるとともに、楽しくゲームを行う中で、一見難しく思えるSDGsを身近なものとして理解し、SDGs達成のためのアイデア創出につながるものである。事業の中では、高校生自らが小・中学校等に出向き出前授業を行っている。出前授業に参加した子どもたちは、地域の資源や課題を知り、課題解決策を市に提案している。



本事業は、邑久高校普通科1年生が担当し、総合計画の進捗や市の課題の変化を反映して、毎年カードの内容を更新しており、高校生が地域探究活動を進めるに当たり、本市全体の概要を学ぶ側面もある。また、カードゲームをきっかけとして総合計画の実行性を高め、SDGsを推進するため、市内での出前授業の実施や、各種イベントに邑久高校と合同出展するなどの普及啓発活動も行っている。加えて、本市の様々なステークホルダー（企業や金融機関、地域活動団体等）にも取組に関わってもらうため、プラットフォームを構築し、本事業の継続と発展に向けて意見交換を行っている。



←聞き書き（高校生が市職員から市の課題や取組をヒアリング）



←カードゲーム初版完成



←出前授業（高校生が小学生に授業を実施）



←おかやまSDGsフェア等で取組をPR

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

本取組は、総合計画を元に高校生が市の職員に対してヒアリングを行って課題や魅力、資源を整理して作成したオリジナルのSDGsカードと、そのカードを用いた体験プログラムの構築と出前授業展開がベースとなっており、その中で地域課題解決のための主権者教育と解決アイデア創出が行われる仕組みを作っている。



7 取組の効果・費用

市内小中学校での出前授業は延べ11校で実施している。企業からの参画者も徐々に増えており、邑久高校を核として多様なステークホルダーが効果的に関わり、良い関係性が構築・維持されている。

本事業に関わった高校生へのアンケートでは、「行動するときにトレードオフ（こんな問題が起きるかも）が考えられるようになった」、「市外出身だが、瀬戸内市について知ることが出来た」、「人前で話すことに対して自信がついた」などの感想が寄せられており、地域の担い手育成としての人材育成につながっていると実感している。

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

本事業は、邑久高校普通科1年生の探究授業に組み込んで実施しており、高校教諭の協力なくしては実施できなかった。高校教諭に本事業の趣旨や効果をご理解いただき、全面的に協力・連携してくれていることで、事業の実施・継続ができています。また、小学校と邑久高校のつながりが新たに生まれており、邑久高校への進学者の増加につながればよいと考えています。

小中学校カリキュラムに余裕がない中、新たな取組として出前授業の実施を依頼しなければならず、初めは理解が得られにくかったが、各校長を個別に訪問し事業趣旨等を説明することで、徐々に協力が得られている。

9 今後の予定・構想

SDGsと地方創生、課題解決を目的としたオリジナルSDGsカード作成と、小・中学生向けの出前講座を展開する中で地域課題解決策が生み出されており、実現、事業化していく仕組みが加われば、更なる展開が図られると考えています。

10 他団体へのアドバイス

この取組を通じて、大人が思う以上に、子どもたちは地域に愛着を持ち、地域のことを考えていることに気づけた。本事業は、当市の総合計画や地方創生の推進に向けて重要なプログラムの1つとなっており、地方創生の一層の深化に向けては、子どもたちの参画による新たなPDCAサイクルの確立が重要だと考えている。

11 取組について記載したホームページ

○環境省：環境教育・ESD 実践動画 100 選

https://www.youtube.com/watch?v=0m_N9qARyAQ

○せとうちSDGs フォーラム

<https://www.city.setouchi.lg.jp/soshiki/8/130853.html>

○岡山県立邑久高等学校ブログ

<https://www.oku.okayama-c.ed.jp/wp/2023/08/30//>